

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり

(34) 自然災害時の避難活動の円滑化

これまでは

自然災害時の3つの基本目標である「人命を守る」「県民の生活を守る」「迅速な復旧・復興を可能にする」に沿って、避難所の環境改善を図ってきました。

- 避難所での良好な生活環境等の確保、避難所の安定的な運営維持のため、設備の充実や物資・資機材の備蓄(県と民間事業者31社と協定締結)
- 避難所運営に関して、避難所の現場で活動された女性の意見を取り入れ、県において平成31年3月に「女性視点の防災ハンドブック」を作成
- 県の災害派遣福祉チーム「奈良DWAT」が令和元年11月に発足
- 市町村の避難所運営マニュアルは、令和2年4月時点で、県内27市町村で策定済
- 令和2年6月に「新型コロナウイルス感染症に備えた避難所運営に係るガイドライン」を策定し、全市町村に配付
- 避難所における感染予防のため必要となるマスク、消毒液等を備蓄

もっと良くするために

本県の避難体制について点検・見直しを行い、いざという時の避難行動に万全を期します。

- 市町村と連携し、「自らの命は自らが守る」という意識の徹底、正しい避難行動についての周知啓発、避難訓練などの取組を継続的に実施
- 市町村が行う避難行動要支援者に対する個別計画策定等への支援
- 市町村が行う避難所運営マニュアルの策定や改定等への支援
- 災害時に避難所へ迅速に物資の配布を行うため、備蓄物資の分散化を実施
- 自主防災組織の実施する防災訓練の支援や、自主防災活動に関するアドバイザーの派遣を実施

他地域での避難活動支援も積極的にいきます。

- 地震や風水害等の自然災害が発生した際、情報収集や避難所運営業務等を支援するため、被災地へ職員を派遣

令和3年度予算案 1百万円

R3予算案 1,290千円

○市町村等が行う避難対策に対する支援

①避難勧告等に関する市町村への支援

奈良県防災情報システムを用いた避難勧告等発令訓練を全市町村を対象に実施
(81千円)

②災害時要配慮者への支援

市町村が行う避難行動要支援者に対する個別計画の策定等への支援
(130千円)

③避難所運営マニュアル策定等の支援

市町村が行う避難所運営マニュアルの策定や改定等への支援

④迅速な物資配布の支援

災害時に避難所へ迅速に物資の配布を行うため、備蓄物資の分散化を実施

⑤自主防災組織への支援

自主防災組織の実施する防災訓練を支援、自主防災活動に関するアドバイザーの派遣
(1,079千円)



避難所運営に関する実務研修

○他地域での避難活動に対する支援

⑥被災地への職員派遣

地震や風水害等の自然災害が発生した際、情報収集や避難所運営業務等を支援するため、被災地へ職員を派遣

<問い合わせ先>

- ①③⑥知事公室 防災統括室 中野主幹(内線2272)
- ②福祉医療部 地域福祉課 下市課長補佐(内線2812)
- ④知事公室 防災統括室 北畑室長補佐(内線2302)
- ⑤知事公室 安全・安心まちづくり推進課 徳丸課長補佐(内線2128)

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (35) なら四季彩の庭づくりの推進

これまでは

四季を通じて彩り豊かな植栽景観を向上させる植栽計画を推進してきました。

- 作庭方針**
- ・調和のとれた「一つの庭づくり」
 - …小庭(エリア)を整えつつ、全体調和に配慮
 - ・地域の景観資産を生かした庭づくり
 - …水辺、田園、森林・山岳、歴史文化遺産等
 - ・四季折々の彩りの庭づくり
 - …四季を感じさせる植物種の選択等
 - ・人が楽しむ庭づくり
 - …見る、くつろぐ、歩く、感じる、遊ぶ、体を動かす等
 - ・庭づくりを続けるために
 - …様々な主体による連携・協働

- 小庭(エリア)整備計画**
- ・県内の主要な名所やその周辺等で「小庭(エリア)」を選定(現在60箇所)
 - ・全小庭(エリア)で「整備方針図」を作成
 - ・具体化が進むと作庭処方図を作成(現在22箇所)

- 条例化等を検討するため、有識者会議を設置しました。
- R2年度、新たに高天交差点～鴻ノ池運動公園周辺エリアと唐古・鍵遺跡史跡公園周辺エリアで整備に着手しました。
- 団体等が花苗の育て方等を相談できる窓口を設置しました。
- 奈良県生活衛生同業組合連合会所属の8団体と「なら四季彩の庭」づくりの推進等に係る連携と協力に関する協定」を締結しました。

もっと良くするために

奈良県を「一つの庭」と見立てた、四季折々の彩りを楽しむ庭づくりを進めます。そのために、場所類型ごとに庭づくりを進めます。

○ 場所類型別の推進方策

場所類型	主な推進方策
森林・山岳	眺望景観の確保、視点場・散策道の整備、環境保全
里山・田園	耕作放棄地・竹林等の適正管理、散策景観の確保
歴史文化遺産	場の歴史を反映する四季の彩り、視点場の整備
水辺	親水空間の創出、水辺の彩り、視点場の整備、環境保全
まち	街路樹・花壇・サイン等の整備、駅周辺等の彩り
人が集う場所	四季の彩り(花の群植)、アメニティー施設の整備



森林・山岳(智積院) 水辺(水上池) 人が集う場所(馬見丘陵公園)

令和3年度予算案 896百万円

R3予算案 895,553千円

四季を通じて彩り豊かな植栽景観を向上させるための植栽計画を推進

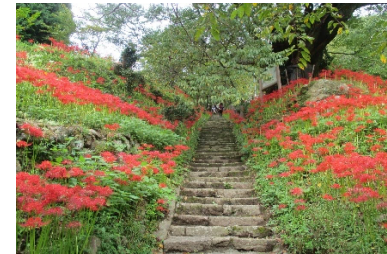
○ 「なら四季彩の庭」づくりの推進(3,035千円)

- ・有識者会議の運営(事業推進、条例化の検討)
- ・類型別モデル事業の実施
- 実施体制の運営(類型別モデル事業の検討、協働モデルの創出)

○ 新 類型別モデル事業実施計画の策定

○ 「なら四季彩の庭」づくりの普及啓発(8,652千円)

- ・シンボルマークを使用したプレート設置やジャーナル発行 等
- ・協定締結等による賛同団体の拡充と実践活動支援
- ・**○ 新 賛同団体と連携した植栽等(賛同団体への花苗供給等)**



佛隆寺(室生エリア)

○ エリア責任課長(庭師)による事業推進

(859,471千円)

< 主な事業 >

- (河川) 四季折々の奈良を感じられる河川空間を形成する親水施設等を整備
- (道路) 大宮通りにおける植栽
主要道路等での植栽
景観眺望を阻害している樹木の剪定・伐採
- (公園) チューリップ等によるパノラマ景観の創出
花と親しむイベントの開催(馬見丘陵公園)
- (施設) 野外活動センターにおける植栽整備
歴史的風土の保存

○ 市町村・地元自治体等への支援(24,395千円)

(市町村への支援)

市町村が行う植栽整備等を支援

(地元団体等への支援)

河川及び道路において地元自治会等が行う植栽・除草・清掃活動を支援
「なら四季彩の庭」づくりアドバイザー(専門家、実務経験者)の派遣

< 問い合わせ先 >

水循環・森林・景観環境部
環境政策課 芳川課長補佐(内線3372)

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (36) 馬見丘陵公園を誇らしい花の公園に整備

これまでは

馬見丘陵公園では、季節ごとの花のイベントを実施し、質の高い花の公園を目指して整備に力を注いできました。

馬見フラワーフェスタ(10月)
53,400人(R1)



馬見クリスマスウィーク(12月)
37,700人(R1)



新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で開催

馬見ひまわりウィーク
(7/23~8/2)
R2: 52,200人(11日間)
(前年度比12,600人増)
R1: 39,600人(9日間)



新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しましたが、多くの来園者にお花をお楽しみいただきました。

馬見チューリップフェア 馬見花菖蒲まつり
(4月) (6月)



令和2年夏から園内移動支援として電動カートを実行しています。



もっと良くするために

馬見丘陵公園を誇らしい花の公園にするため、さらに整備を進めます。

花見茶屋の内装リフォームを行い、夏涼しく冬暖かい木のぬくもりを感じる休憩スペースを創出します。(18百万円)



池部駅から北エリアまでの区間を「花街道」として植栽を充実させ、花々を楽しみながら健康づくりができるウォーキングルートを整備します。(17百万円)



公園の魅力向上のための植栽等を充実させます。(131百万円)

・チューリップの株数(R2:50万株→R3:60万株)
・県民協働花壇の設置、公園ボランティアの育成、ボランティアハウスの管理運営

園内の移動支援のため電動カートを目上(イベント期間及びGWは平日含む)に運行します。(12百万円)

やまと花ごよみイベントを開催し、楽しめる公園にします。

(33百万円)〔債務負担行為9百万円〕

・(4月)馬見チューリップフェア (6月)馬見花菖蒲まつり (7月~8月)馬見ひまわりウィーク (10月)馬見フラワーフェスタ (12月)馬見クリスマスウィーク
・ウィズコロナ時代に対応した、安心して公園の魅力を享受するイベントの充実

令和3年度予算案 211百万円〔債務負担行為9百万円〕

R3予算案 210,911千円 [債務負担行為 9,400千円]



花街道整備イメージ

1 新花見茶屋レストハウスの整備 (17,630千円)

- 夏は涼しく冬は暖かい、木のぬくもりを感じる休憩スペースの創出



花見茶屋整備イメージ

電動カート運行ルート



2 池部駅から北エリアまでの区間に「花街道」を創出 (17,140千円)

- 季節の花々を楽しみながら散歩できる環境の整備
ベンチや健康遊具、距離標等を設置

3 公園の魅力向上のための植栽等 (130,799千円)

- チューリップ等によるパノラマ景観の創出
(チューリップの株数の充実 R2 50万株 → R3 60万株)
- 県民協働花壇の設置、公園ボランティア育成、ボランティアハウスの管理運営

4 電動カートによる園内の移動支援 (12,475千円)

- 園内移動支援のため、R2年度より電動カートを導入
- 電動カート運行ルートの延伸を検討(池部駅~花見茶屋横)

5 やまと花ごよみイベントの開催 (32,867千円、R4債務負担行為 9,400千円)

- 馬見チューリップフェア、馬見花菖蒲まつり、馬見ひまわりウィーク、馬見フラワーフェスタ、馬見クリスマスウィーク
- ガイドツアー等による馬見古墳群のPRの実施
- イベント期間中の路線バス増便

<問い合わせ先>

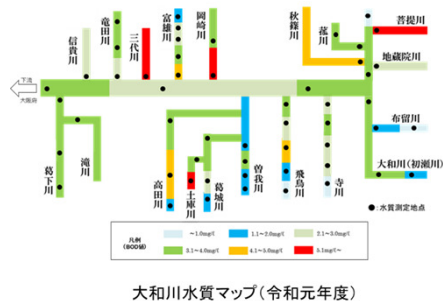
地域デザイン推進局 公園緑地課 政木主幹(内線4307)

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (37) 大和川とその支川のきれい化

これまででは

大和川とその支川の水質改善に努めてきています。

○大和川の水質は、下水道の整備等により改善傾向(BOD値①4.7mg/L→②2.4mg/L)にあるものの、他府県の河川に比べて低位にあります。また、河川にゴミが散乱し、水辺景観を損なっているところもあります。



大和川水質マップ(令和元年度)

もっと良くするために

地域の人々と協働して、奈良県の中心部を流れる母なる川「大和川」とその支川をきれいにする奈良県スタイルを推進します。

○「きれいに暮らす奈良県スタイル推進協議会」の運営、「きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル」の発行(年4回・部数・配布先を拡大)を通じて「きれいに暮らす」実践活動を広く誘発・促進(6百万円)

○市町村境界で水質測定を実施し、測定結果をマップにして公表(9百万円)

○合併処理浄化槽設置補助を実施する市町村に対し助成(38百万円)

○下水道施設の整備を推進するとともに下水道接続促進員による戸別訪問を実施する市町村を助成(4百万円)

○河川敷地における不法行為の排除のため、定期的な巡視活動や啓発看板の設置など更なる対策強化を実施(21百万円)



きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル

令和3年度予算案 78百万円

R3予算案 78,430千円

① きれいに暮らす奈良県スタイルの推進(6,487千円)

- 「きれいな奈良県」の実現に向け、多様な主体の連携・協働による実践活動を誘発・促進
 - ・「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会の運営
 - ・実践活動団体のネットワーク化を促進
 - ・きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナルの発行(年4回・部数・配布先を拡大)等



② 大和川の水質改善(9,158千円)

- 効果的な河川水質の改善対策を推進するため、市町村境界で水質測定を実施し、測定結果をマップにして公表
- 導水水量確保により河川環境を改善

③ 浄化槽設置整備の推進(37,600千円)

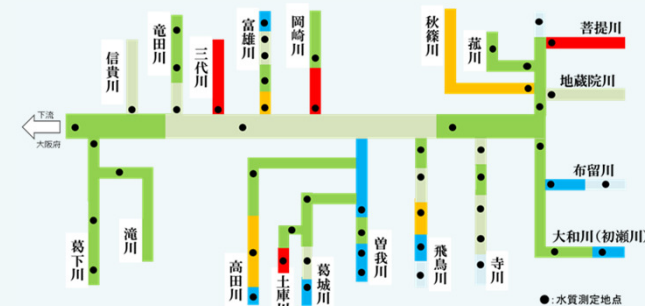
- 合併処理浄化槽設置者に対する補助事業を実施する市町村に対し支援(大和川流域市町村について、補助対象事業の規模要件を撤廃)
【現行規模要件】市町村補助事業費4,000千円以上、受益戸数10以上、受益人数30人以上のいずれか
【令和3年度】撤廃

④ 下水道接続の推進(4,000千円[特別会計])、汚水処理の効率化

- 下水道接続促進員による戸別訪問を実施する市町村に対し支援
- 下水道の持続的な経営に向けた県・市町村の一体化の可能性を研究

⑤ 河川の美化対策(21,185千円)

- 河川敷地の不法占用、不法投棄等の排除・撤去を行い、原状回復を図るとともに、未然防止及び再発防止のための諸対策を実施



大和川水質マップ(令和元年度)

<問い合わせ先>

- ①②③水循環・森林・景観環境部 環境政策課 佐羽課長補佐(内線3391)、芳川課長補佐(内線3372)
- ②⑤県土マネジメント部 河川整備課 千葉主幹(内線4173) ④下水道課 前田課長補佐(内線4332)

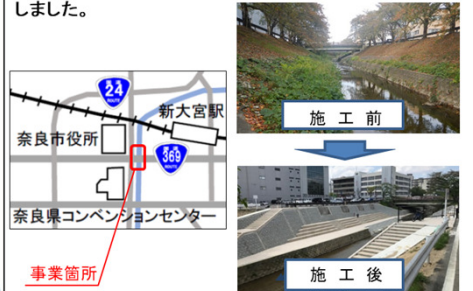
Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (38) きれいな川辺づくり、遊歩環境の改善

これまでは

水辺に親しめる**親水空間の整備**を進めてきました。

- 雑草や雑木が生い茂っているなど、景観的な魅力が乏しい箇所があり、水辺に近づきにくい状況になっています。
- 水辺は、身近な開放的空間であり、安全・快適で、潤いのある豊かな景観の維持・向上とともに、水辺に親しめる親水空間の形成が必要です。

○佐保川(奈良市大宮町)において親水施設の一部が完成しました。



もっと良くするために

水辺は、開放的な空間であるとともに、豊かな景観を構成する要素となっています。景観の維持・向上とともに、水辺に親しめる親水空間の整備を進めます。

- 河川沿いの観光施設や親水公園を周遊する遊歩道を整備(大和川、竜田川)(18百万円)
令和3年度から大和川遊歩道整備に着手
- 県植栽計画に基づき、親水施設や河川沿いに花壇等を整備(富雄川、佐保川、佐味田川)(31百万円)
令和3年度に佐保川親水施設、佐味田川遊歩道が完成
- 地元自治会等が行う植栽、除草、清掃等を支援し、団体を増やす啓発活動を実施(12百万円)
- 護岸等修繕、除草、堆積土砂撤去(1,886百万円)
[債務負担行為 300百万円]



地元自治会が行う花の植栽(秋篠川・奈良市)

令和3年度予算案 1,947百万円 [債務負担行為 300百万円]

R3予算案 1,947,476千円 [債務負担行為 300,000千円]

- ① 水辺の遊歩道の整備(18,360千円)
 - 河川沿いの観光施設や親水公園を周遊できるルートを形成するため、**堤防を遊歩道として整備**
＜R3年度＞ 大和川、竜田川
- ② 奈良の河川彩りづくりの推進(31,000千円)
 - 奈良県植栽計画に基づき、四季折々の奈良を感じられる河川空間を形成するため、**親水施設や河川沿いに花壇等を整備**
＜R3年度＞ 富雄川、佐保川、佐味田川
- ③ 地域の河川サポートの推進(11,779千円)
 - 県管理河川において、**地元自治会等が行う花の植栽活動や除草、清掃等の活動を支援**
- ④ 河川の維持修繕(1,886,337千円、R4債務負担行為 300,000千円)
 - 護岸等修繕、除草、堆積土砂撤去
 - 河川空間のアセットマネジメント



地元自治会等による花の植栽(秋篠川・奈良市)

奈良の河川彩りづくり事業(佐保川・奈良市)

＜問い合わせ先＞

- ①②④ 県土マネジメント部 河川整備課 千葉主幹(内線4173)
- ③ 水循環・森林・景観環境部 水資源政策課 中川課長補佐(内線2543)